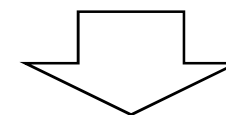
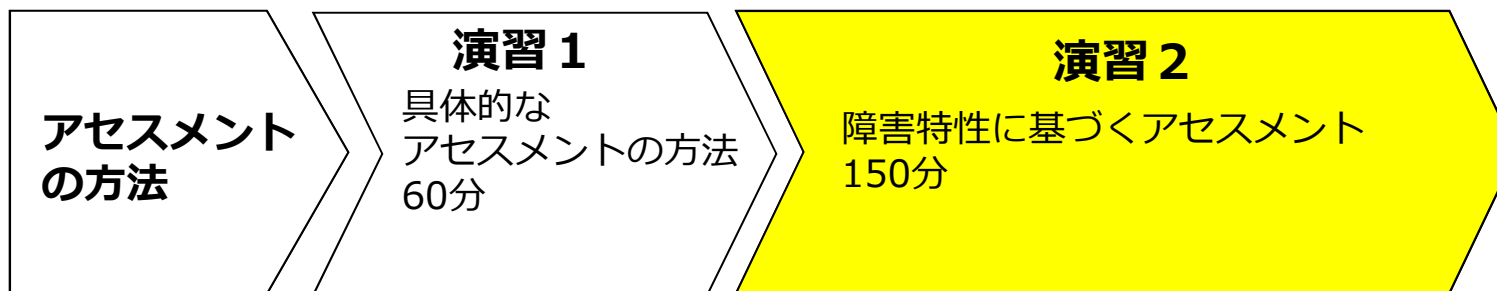


# アセスメントの方法②

～ 障害特性に基づくアセスメント～

和歌山県発達障害者支援センター **ポリス**  
相談支援員 堀川律子

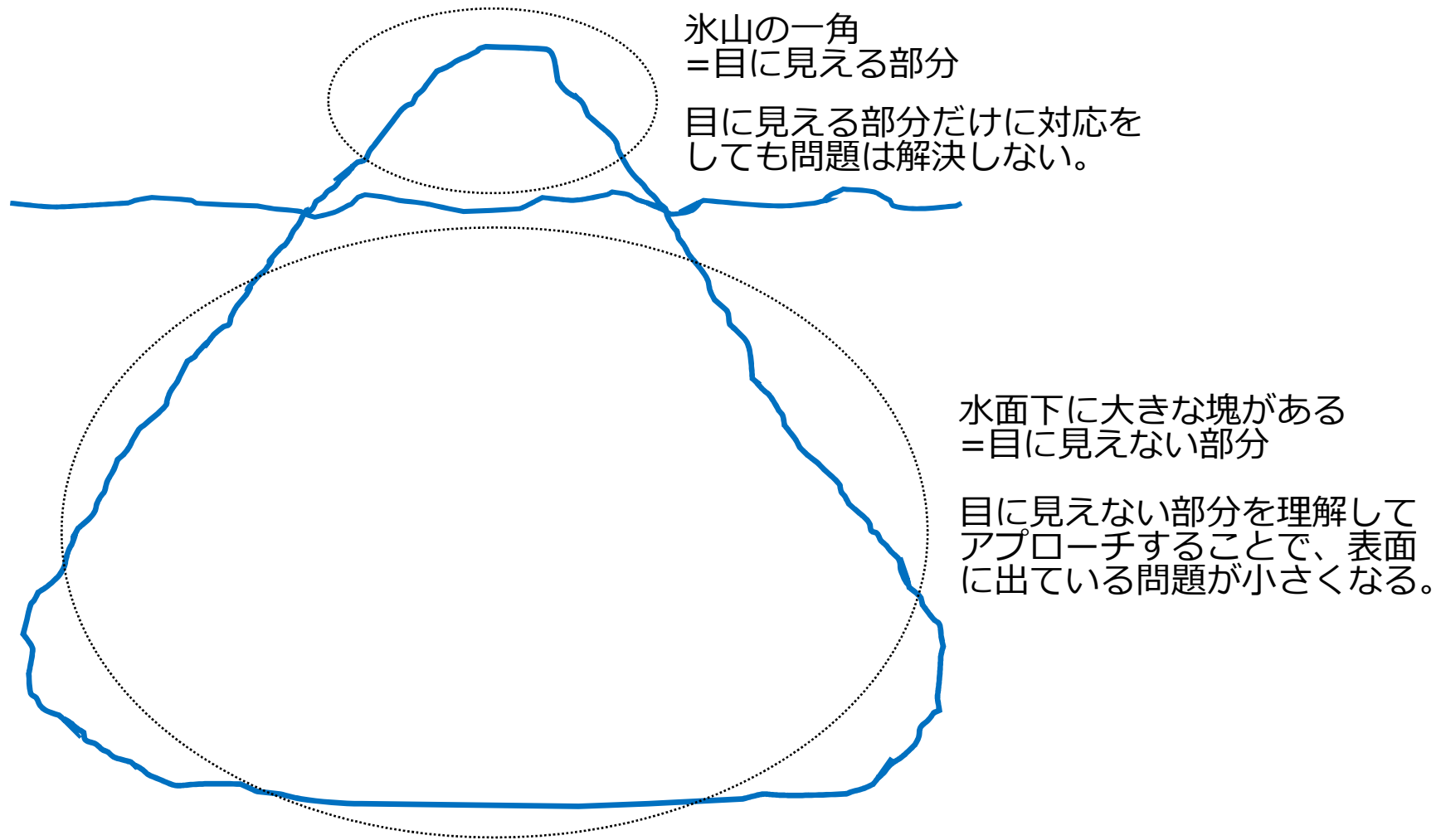




- i) 氷山モデルについて
- ii) 課題となる行動の確認
- iii) 本人の特性を整理する
- iv) 行動に影響を与えている環境や状況を整理する
- v) 必要なサポートを整理する

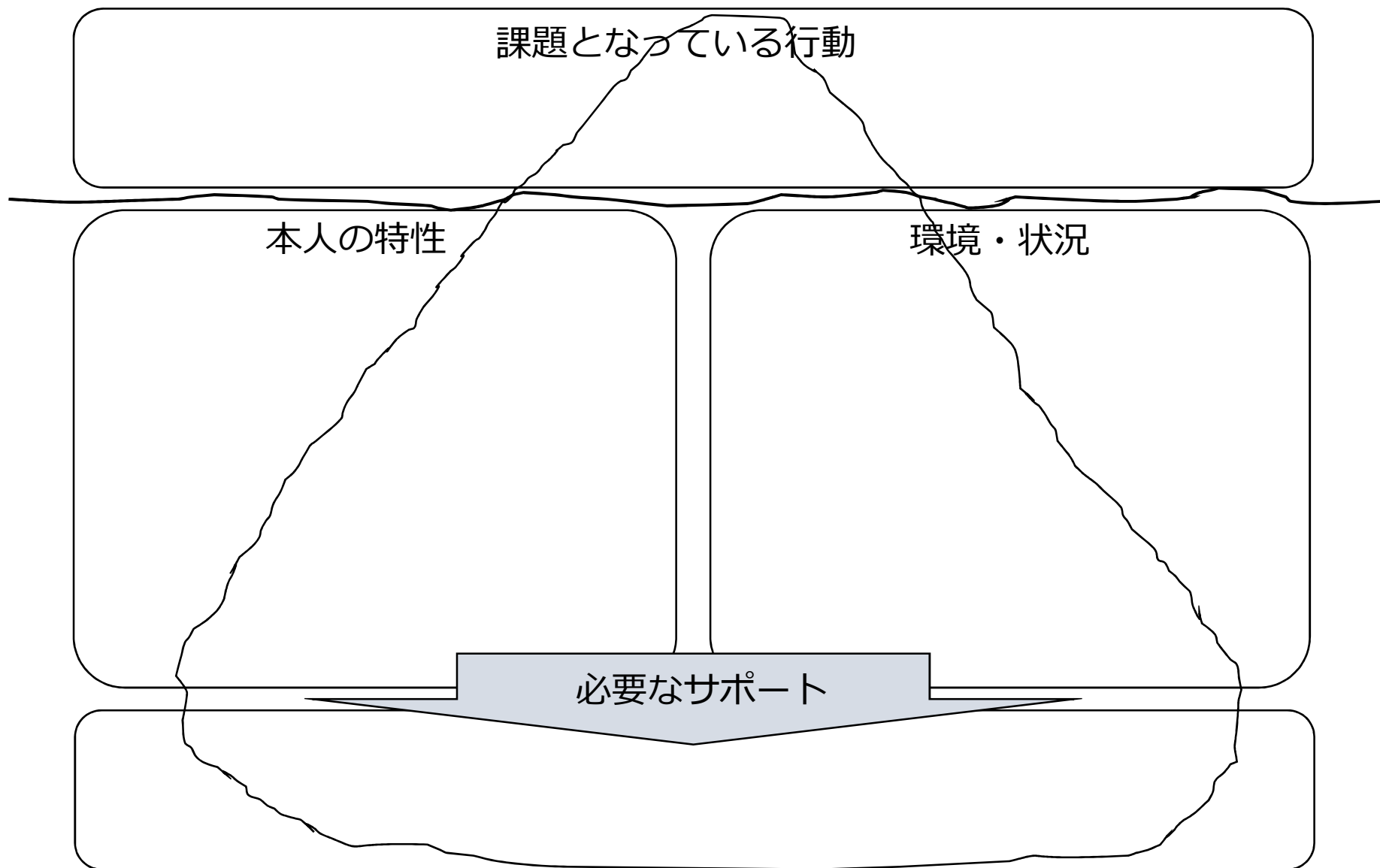
i) 氷山モデルについて

# 行動の背景を知るための「冰山モデル」



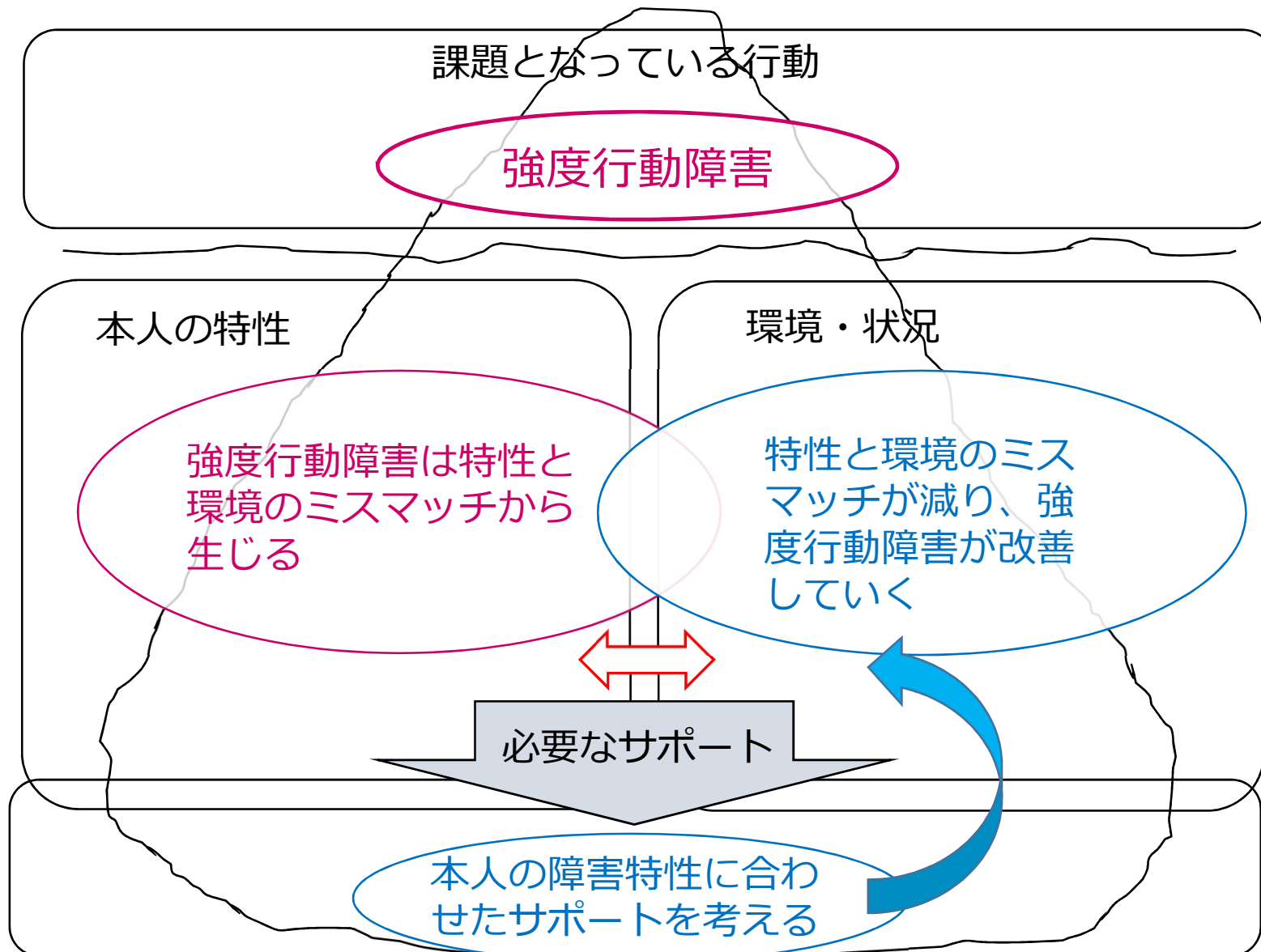
# 冰山モデルシート

ワークシート②



# 冰山モデルシート

ワークシート②



# 氷山モデルシートと 補足シートの関係

	例	本人の具体的な行動
社会性	<p>7: 周囲が合わない</p> <p>イ: 人との関わりが一方的であることが多い</p> <p>ウ: 相手の気持ちに寄り添う行動が少ない</p> <p>エ: 周囲の状況に合わせて行動できない</p> <p>オ: 周囲の状況に対して興味を示さない</p>	
	<p>カ: 高層や低層、社会のルールに順応して行動する</p> <p>キ: 言葉で指示しても行動できない</p> <p>ク: 言葉で指示されたことと違うことをする</p>	
コミュニケーション	<p>ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーアクト）</p> <p>コ: 行動や言葉などで自分の気持ちを見せる</p> <p>カ: 言葉で自分の気持ちを伝えられることが多い</p> <p>キ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない</p> <p>ク: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない</p> <p>ス: やりとりが合わない</p> <p>セ: やりとりがわからない</p> <p>ソ: 言葉が通じない、通じても、通じてもいない</p> <p>タ: 言葉が通じない、通じても、通じてもいない</p>	
	<p>チ: 自分で予定を立てることができない</p> <p>ツ: 自分で動くことができない</p> <p>テ: 予定が変更になると混乱することが多い</p> <p>ト: 予定が変更になると混乱することが多い</p> <p>チ: 予定が変更になると混乱することが多い</p> <p>ツ: 予定が変更になると混乱することが多い</p> <p>テ: 予定が変更になると混乱することが多い</p>	
想像力	<p>チ: 想像力が低い</p> <p>ツ: 想像力が低い</p> <p>テ: 想像力が低い</p> <p>ト: 想像力が低い</p> <p>チ: 想像力が低い</p> <p>ツ: 想像力が低い</p> <p>テ: 想像力が低い</p> <p>ト: 想像力が低い</p>	
	<p>チ: 想像力が低い</p> <p>ツ: 想像力が低い</p> <p>テ: 想像力が低い</p> <p>ト: 想像力が低い</p> <p>チ: 想像力が低い</p> <p>ツ: 想像力が低い</p> <p>テ: 想像力が低い</p> <p>ト: 想像力が低い</p>	
観察力	<p>チ: 観察力が低い</p> <p>ツ: 観察力が低い</p> <p>テ: 観察力が低い</p> <p>ト: 観察力が低い</p> <p>チ: 観察力が低い</p> <p>ツ: 観察力が低い</p> <p>テ: 観察力が低い</p> <p>ト: 観察力が低い</p>	
	<p>チ: 観察力が低い</p> <p>ツ: 観察力が低い</p> <p>テ: 観察力が低い</p> <p>ト: 観察力が低い</p> <p>チ: 観察力が低い</p> <p>ツ: 観察力が低い</p> <p>テ: 観察力が低い</p> <p>ト: 観察力が低い</p>	

課題となっている行動（本人が困っている行動）	課題となる特性	改善のアイデア
社会性	1) 相手への関心が低い	A) 関心を持ってもらう、関心を持ってもらう（相手の視点）
	2) 相手から期待されていることを理解することが難しい	B) 相手に伝えたいことを具体的に伝える（伝え方の視点、やり方の視点）
	3) 相手から期待されていることを理解することが難しい	C) ように伝える（方法の視点、やり方の視点）
	4) 周囲で起きていることに関心が低い	D) 本人が理解できる見える情報（文脈、単語、絵、写真、シミュレーション、具体物など）で伝える（やり方の視点、伝え方の視点）
	5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	E) 本人が理解しやすいツール（文脈、単語、絵、写真、シミュレーション、具体物など）で伝える（やり方の視点、伝え方の視点）
	6) 伝えたいことが伝わらない	F) 視覚的なツールややり方で伝える（やり方の視点、伝え方の視点）
	7) 伝えたいことが伝わらない	G) 本人に分かりやすい（予定の変更を伝える（時間の視点））
	8) 伝えたいことが伝わらない	H) 相手の気持ちを分かりやすいように伝える（時間の視点、場所の視点）
	9) 相手の気持ちを伝えることが難しい	I) 活動に意味や目的を持つことができる工夫をする（方法の視点）
	10) 相手の気持ちを伝えることが難しい	J) 最初から正しい方法で行うことができるようにする（方法の視点）
	11) 伝えたいことが伝わらない	K) 好きな刺激、必要な刺激を保障する（場所の視点）
	12) 伝えたいことが伝わらない	L) 好きな刺激、必要な刺激を保障する（場所の視点）
	13) 相手の状況に合わせてコミュニケーションが難しい	
	14) 表情や態度などの非言語コミュニケーションが難しい	
	15) やり取りの頻度が多い/少ない	
コミュニケーション	16) 相手の言葉に反応することが難しい	
	17) なんでもかんでも「はい/いいえ」しか返さない	
	18) 今の状況と相手の行動が一致しない	
	19) 相手の言葉を繰り返すことが難しい	
	20) 相手の言葉が通じない	
	21) 相手の言葉が通じない	
	22) 相手の言葉が通じない	
	23) 相手の言葉が通じない	
	24) 相手の言葉が通じない	
	25) 相手の言葉が通じない	
	26) 相手の言葉が通じない	
	27) 相手の言葉が通じない	
	28) 相手の言葉が通じない	
	29) 相手の言葉が通じない	
	30) 相手の言葉が通じない	

項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（言葉、指差し、実物、絵に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 言葉を話すときの立ち位置は適切ですか その他	
物	物と距離が近い/遠い物があるかどうか 物と物との間に物があるかどうか 物の量が多すぎたり少なすぎたりするかどうか その他	
場所	居るべき場所なのか見ればわかるようになっていないか 同じ場所でも異なる目的の活動をしているか 視覚的な情報が不足しているか 視覚的な情報が過剰になっているか その他	
状況	本人の体調はいいと比べてどうですか その活動の前後に異なることであればいいか その活動の前後に異なることであればいいか その活動の前後に異なることであればいいか その他	
音	その場所にはどんな音がありますか その中に本人が苦手な音はありますか	
気温	その場所の気温は快適ですか（あるいは暑かった・寒かった等） その気温は本人にとって快適なものでしょうか	
湿度	その場所の湿度は快適ですか（あるいは蒸気していた・乾燥していた等） その湿度は本人にとって快適なものでしょうか	
臭い	その場所にはどんな臭いがありますか その中に本人が苦手な臭いがありますか	
その他	その他本人が不安定になる原因になるかもしれないもの	

本人の強み（ストレングス）	活かせる場面や状況
わかること（できること） 例）ななごの絵が、ペイントの色がわかる、ハサミが上手、など	
好きなこと（遊び方、過ごし方、キャラクターなど） 例）ハシモノで遊べる、○○のキャラクター、ピタはまる、色を合わせる	
得意なこと（これは使われているなど） 例）異物を見つけられる、言葉が通じないでも通じようとする	
得意なこと（これは使われているなど） 例）異物を見つけられる、言葉が通じないでも通じようとする	
その他	

行動チェックシート  
ワークシート①/③

特性確認シート  
支援のアイデア  
ワークシート④

環境確認シート  
ワークシート⑤

強み確認シート  
ワークシート⑥

# 氷山モデルシートと 補足シートの関係

ワークシート①/③

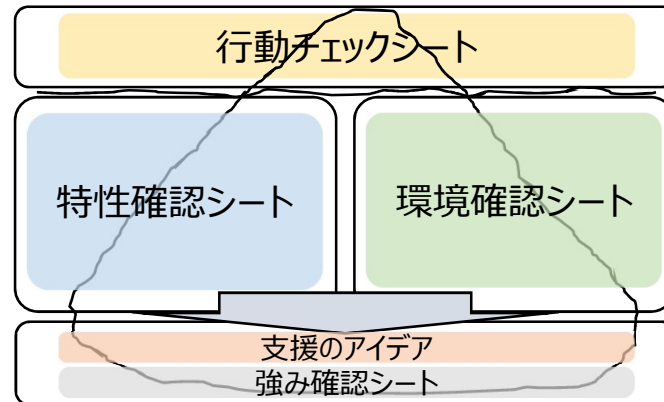
項目	内容
1. 目的	...
2. 対象	...
3. 実施方法	...
4. 実施時期	...
5. 実施場所	...
6. 実施者	...
7. 実施結果	...
8. 実施後のフォローアップ	...

**行動チェックシート**

ワークシート④

項目	内容
1. 目的	...
2. 対象	...
3. 実施方法	...
4. 実施時期	...
5. 実施場所	...
6. 実施者	...
7. 実施結果	...
8. 実施後のフォローアップ	...

**特性確認シート**



ワークシート⑤

項目	内容
1. 目的	...
2. 対象	...
3. 実施方法	...
4. 実施時期	...
5. 実施場所	...
6. 実施者	...
7. 実施結果	...
8. 実施後のフォローアップ	...

**環境確認シート**

項目	内容
1. 目的	...
2. 対象	...
3. 実施方法	...
4. 実施時期	...
5. 実施場所	...
6. 実施者	...
7. 実施結果	...
8. 実施後のフォローアップ	...

**強み確認シート**

ワークシート⑥



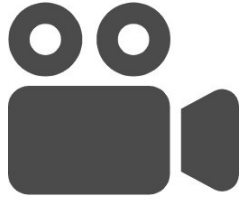
ii) 課題となる行動の確認

# 課題となる行動の表出

お出かけが気になって、田中さんはなかなか作業ができません。

田中さんに作業をしてもらうために、職員も懸命に働きかけています。

ある時、お出かけが気になる田中さんを職員が制止しようとする、田中さんは大きな声をあげて飛び跳ねながら自分の顔を叩いてしまいました。



# 動画の視聴

# 行動チェックシートの追加

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	✓	支援者が話しかけても支援者の方を向かない  支援者が作業をするようにはたらかけても動かない、水遊びに行く、「お出かけ」と言って歩き出す
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する	✓	
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する				
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	支援者が「作業をしましょう」と言っても座っている  支援者が「作業をしましょう」と言うと水遊びに行く  「作業をしましょう」と言われて「作業」と繰り返す  「お出かけ」と言って立ちあがる、歩きたす  「お出かけ」という言葉だけで自分の気持ちを伝えようとしている
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーリア）	✓	
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない	✓	
	やりとりが難しい	ス: やりとりがかみ合わない		
		セ: やりとりが続かない		
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにワロワロしている、じっとしている		部屋に入るとイスに座ってじっとしている
		チ: 自分から動くことができない	✓	
		ツ: 予定の変更にも混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
	物の一部に対する強い興味	ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
		ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
感覚	感覚が敏感または鈍感	ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない	✓	お出かけにこだわり作業ができない  常に耳をふさいでいる  キラキラした刺激が好き（基本情報より）  水道の水を長時間触っている
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		
		ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	✓	
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好み、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		

# 行動チェックシートの追加

ワークシート④

## 行動チェックシート

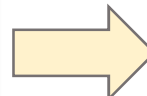
		例	✓	本人の具体的な行動
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	支援者が「作業をしましょう」と言っても座っている 支援者が「作業をしましょう」と言うと水遊びに行く 「作業をしましょう」と言われて「作業」と繰り返す 「お出かけ」と言って立ちあがる、歩きだす 「お出かけ」という言葉だけで自分の気持ちを伝えようとしている
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコリア）	✓	
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない	✓	
	やりとりが難しい	ス: やりとりがかみ合わない		
		セ: やりとりが続かない		
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		

# 「行動チェックシート」の中から課題となっている行動を確認します

行動チェックシート

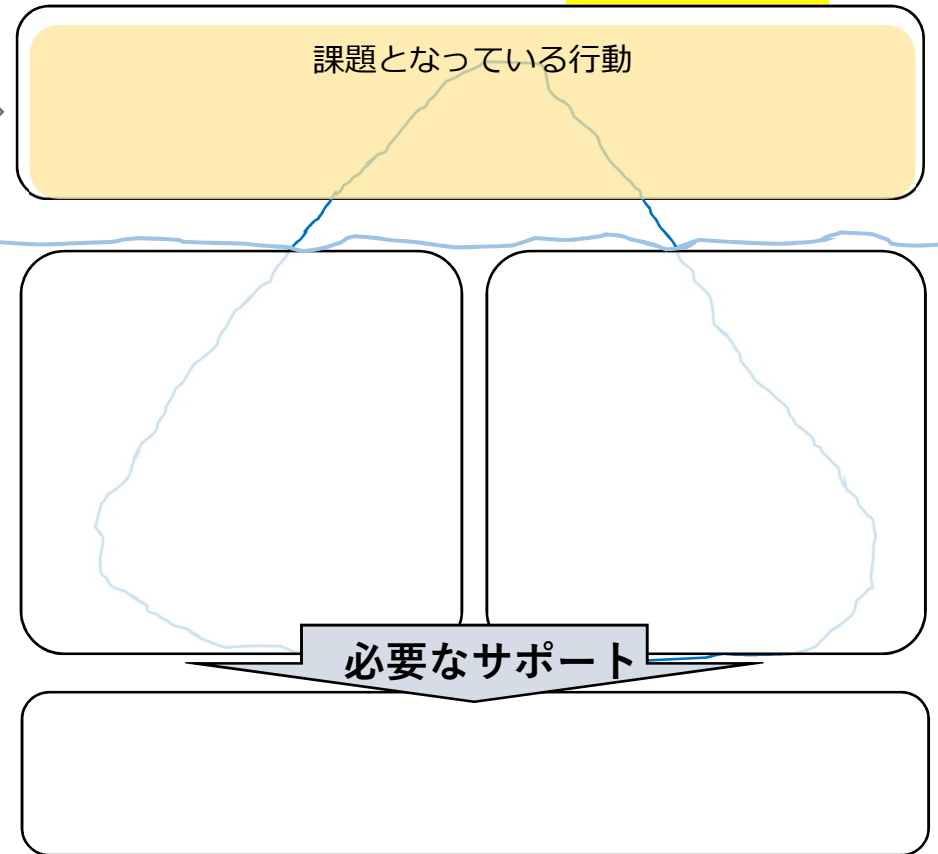
ワークシート③

	例	✓	本人の具体的な行動		
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない イ: 人との関わりが一方的であることが多い ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する			
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない オ: 周囲の状況に対して興味を示さない カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する			
		理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない ク: 言葉で指示されたことと違うことをする ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す(エコリア)		
			発信が難しい	コ: 行動や仕事などで自分の気持ちを現わす サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない	
	やりとりが難しい			ス: やりとりが合わない セ: やりとりが続かない ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある	
		想像力		タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている チ: 自分から動くことができない ツ: 予定の変更が混乱することが多い	
変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えたと混乱することが多い ト: 日課が変更されると混乱することが多い ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない				
	物の一部に対する強い興味		ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		
		感覚	ノ: 音を響く、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに眩しがる、などの行動がある ヒ: 特定の場所に立腹する、振動に嫌がる、または振っていないような行動がある フ: 特定の食べ物、野菜の強い味を好む、同じものばかり食べる、などの行動がある ヘ: 特定の臭いを嫌がったり、振動に嫌がる、臭いでグルグル回る、ロイヤングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		



冰山モデルシート

ワークシート②



# ワークシート③

行動チェックシート

ワークシート③

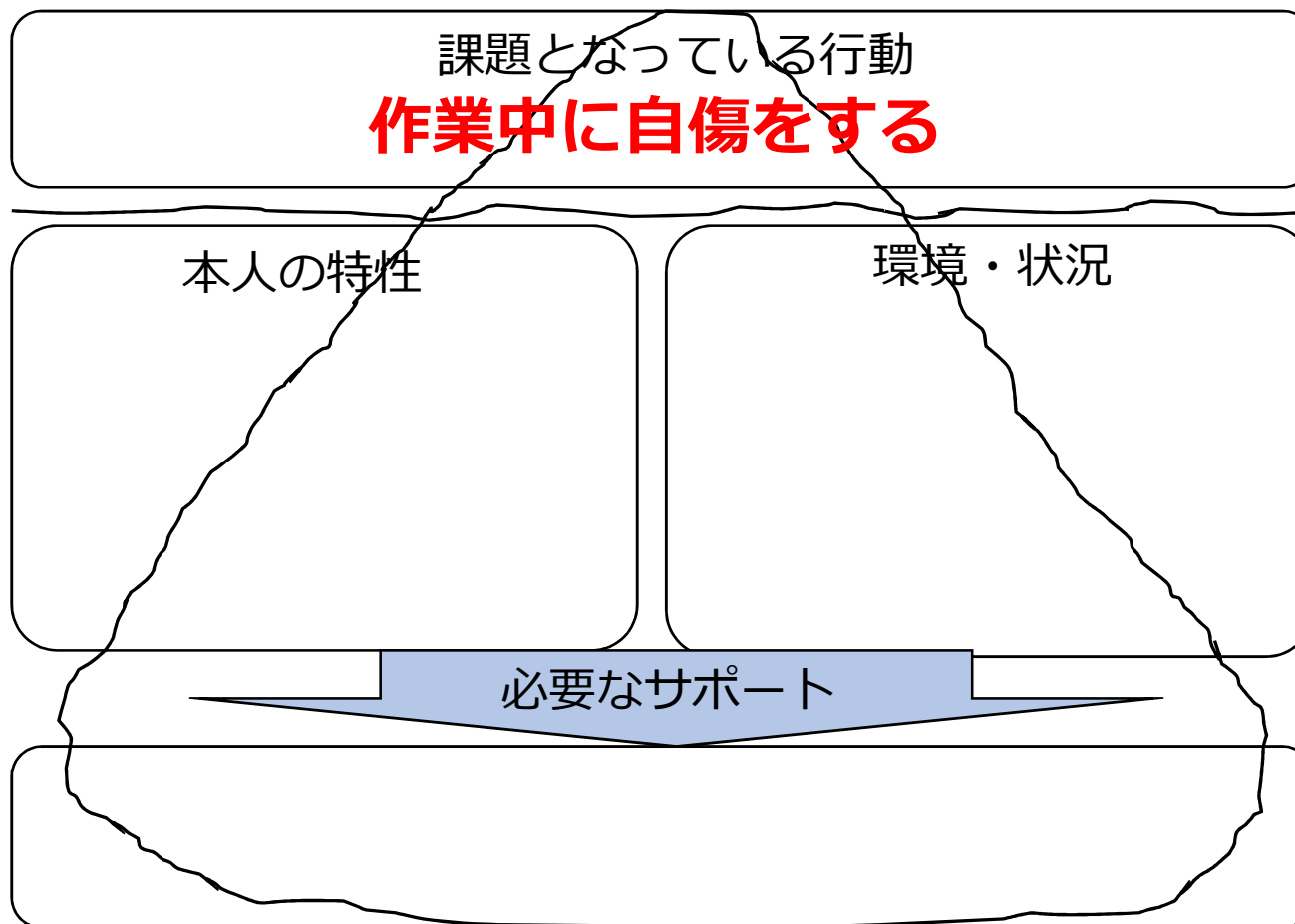
	例	✓	本人の具体的な行動	
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	✓	支援者が話しかけても支援者の方を向かない  支援者が作業をするようにはたらかけても動かない、水遊びに行く、「お出かけ」と言って歩き出す
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する	✓	
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	支援者が「作業をしましょう」と言っても座っている 支援者が「作業をしましょう」と言うと水遊びに行く 「作業をしましょう」と言われて「作業」と繰り返す <b>「お出かけ」と言って立ちあがる、歩き出す支援者から止められて作業中に自傷をする</b> 「お出かけ」という言葉だけで自分の気持ちを伝えようとしている
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーリア）	✓	
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない	✓	
	やりとりが難しい	ス: やりとりがかみ合わない		
		セ: やりとりが続かない		
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		
		タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	チ: 自分から動くことができない	✓	部屋に入るとイスに座ってじっとしている  お出かけにこだわり作業ができない
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
		テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
		ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
	物の一部に対する強い興味	ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない	✓	
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		
		ノ: 目を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	
感覚	感覚が敏感または鈍感	ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	常に耳をふさいでいる キラキラした刺激が好き（基本情報より） 水道の水を長時間触っている
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	✓	
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		

「お出かけ」と言って立ち上がる、歩き出す、支援者から止められて  
作業中に自傷をする

今回は、この行動に対応する支援手順書を作っていきます。

# 冰山モデルを使って田中さんの行動を整理します

ワークシート②





# 課題となっている行動

1. 自分自身の生命あるいは健康に著しい危険を与える行動
2. 周囲の人あるいは状況に著しい危険ないし混乱を与える行動
3. 自分自身の意味ある活動への参加や学習を著しく妨げる行動

以上3つの条件のうち少なくともひとつに該当する行動と言われる。

参考文献『発達障害児の問題行動その理解と対応マニュアル』志賀利一

1. 自分自身の生命あるいは健康に著しい危険を与える行動  
→自傷で田中さんがケガをするかもしれない
2. 周囲の人あるいは状況に著しい危険ないし混乱を与える行動  
→大声を聞いた他の利用者が恐怖を感じるかもしれない  
→支援者も恐怖を感じるかもしれない
3. 自分自身の意味ある活動への参加や学習を著しく妨げる行動  
→作業ができなくなるかもしれない

iii) 本人の特性を整理する

# 「特性確認シート」を使って本人の特性を整理します

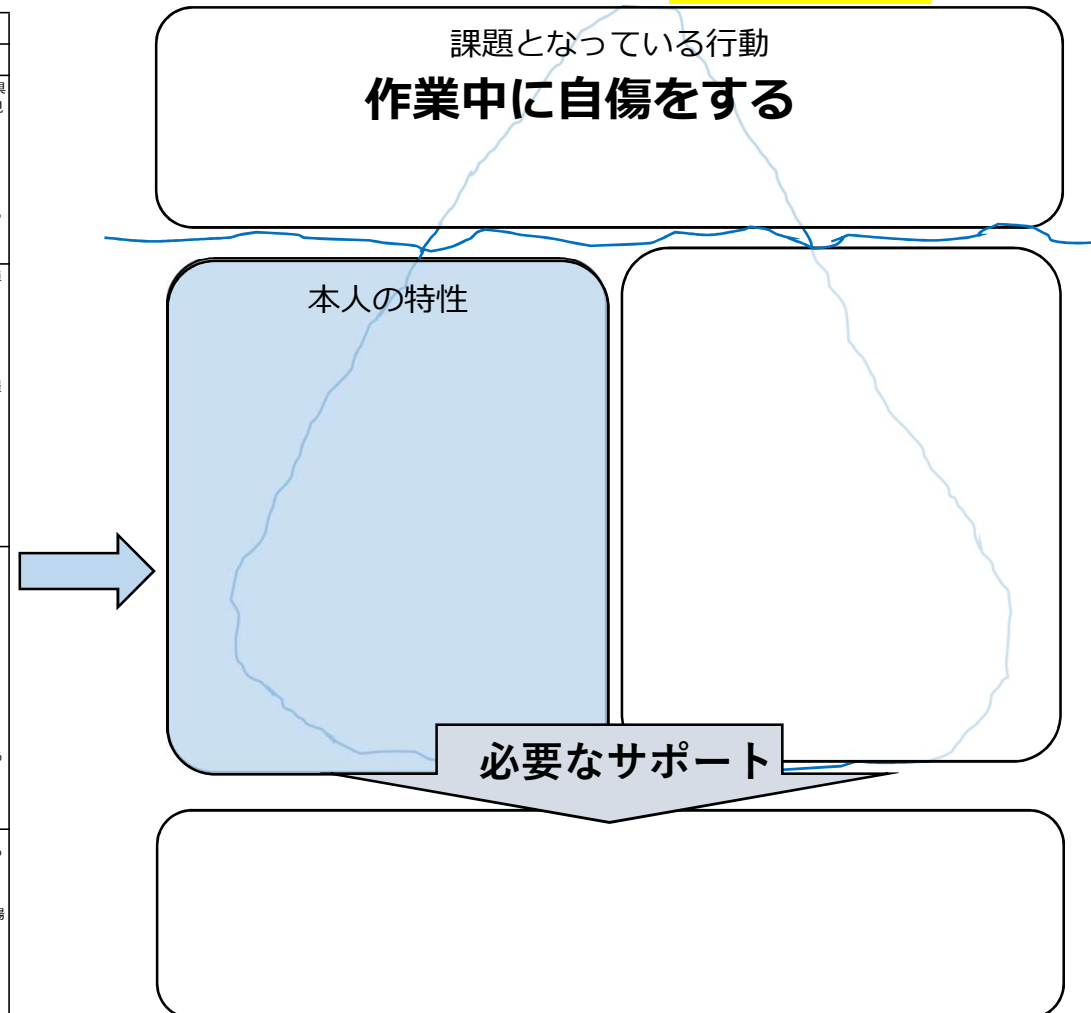
特性確認シート

ワークシート④

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 』		
	背景となる特性	支援のアイデア
社会性	1) 相手への関心が薄い	A) 汲み取ってもらい、察してもらわずに、具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える(方法の視点・やりとりの視点)
	2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい	
	3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい	
	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い	
	5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	
	6) 見えないものの理解が難しい	
コミュニケーション	7) 話し言葉の理解が難しい	D) 本人が理解できる見える情報(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)で伝える(やりとりの視点・見え方の視点) E) 本人が発信しやすいツールを(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)提供する(やりとりの視点・見え方の視点) F) 視覚的なツールでやりとりができるようにする(やりとりの視点・見え方の視点)
	8) 一度にたくさんのかんことを理解するのが難しい	
	9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい	
	10) 話し言葉で伝えることが難しい	
	11) どのようにして伝えたいかわからない	
	12) 誰に伝えていいかわからない	
想像力	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい	G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える(時間の視点) H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする(時間の視点・場所の視点) I) 活動に興味や目的を持つことができる工夫をする(方法の視点) J) 最初から正しい方法で行うことができるようにする(方法の視点)
	14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい	
	15) やりとりの量が多いと処理が難しい	
	16) 段取りを適切に組むことが難しい	
	17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい	
	18) 今やることを自分で判断することが難しい	
感覚	19) 先の予測をすることが難しい	K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする(場所の視点) L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する(場所の視点)
	20) 臨機応変に判断することが難しい	
	21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい	
	22) 興味関心が狭くて強い	
	23) 細部が気になり濃くに敏感	
	24) 少しの違いで大きな不安を感じる	
感覚	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	
	26) 視覚の過敏や鈍麻がある	
	27) 触覚の過敏や鈍麻がある	
	28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある	
	29) 味覚の過敏や鈍麻がある	
	30) 前庭覚の特有の感覚がある	

冰山モデルシート

ワークシート②



# 田中さんが作業中に自傷をする理由を考えます

特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 作業中に自傷する 』		背景となる特性	支援のアイデア
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い	A) 体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える(方法の視点・やりとりの視点)
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい	
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい	
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い	
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	
		6) 見えないものの理解が難しい	
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	D) 本人が理解できる見える情報(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)で伝える(やりとりの視点・見え方の視点) E) 本人が発信しやすいツール(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)を提供する(やりとりの視点・見え方の視点) F) 視覚的なツールでやりとりができるようにする(やりとりの視点・見え方の視点)
		8) 一度にたくさんのかことを理解するのが難しい	
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい	
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい	
		11) どのようにして伝えたいか分からない	
		12) 誰に伝えていいか分からない	
	やりとりが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい	
		14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい	
		15) やりとりの量が多いと処理が難しい	
想像力	自分で予定を立てることが難しい	16) 段取りを適切に組むことが難しい	G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える(時間の視点) H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする(時間の視点・場所の視点) I) 活動に意味や目的を持つことができる工夫をする(方法の視点) J) 最初から正しい方法で行うことができるようにする(方法の視点)
		17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい	
		18) 今やることを自分で判断することが難しい	
	変化への対応が難しい	19) 先の予測をすることが難しい	
		20) 臨機応変に判断することが難しい	
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい	
	物の一部に対する強い興味	22) 興味関心が狭くて強い	
		23) 細部が気になり違いに敏感	
24) 少しの違いで大きな不安を感じる			
感覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする(場所の視点) L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する(場所の視点)
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある	
		27) 触覚の過敏や鈍麻がある	
		28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある	
		29) 味覚の過敏や鈍麻がある	
		30) 前庭覚の特有の感覚がある	

# 個人ワーク | 本人の特性を整理する

→ワークシート④

1. 特性確認シートで「作業中に自傷をする」  
に関する特性をピックアップします。
2. 氷山モデルシートの本人の特性の欄に転記  
します。 →ワークシート②

# 田中さんが作業中に自傷をする背景と考えられる特性にチェックを入れてみましょう

ワークシート④

## 特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 作業中に自傷をする 』			
		背景となる特性	支援のアイデア
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い	A) 汲み取ってもらう、察してもらうではなく、具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点)  B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点)  C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える(方法の視点・やりとりの視点)
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい	
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい	
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い	
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	
		6) 見えないものの理解が難しい	

<次のような仮説を立てながらチェックを入れます。>

「 相手への関心が薄い (=背景となる特性) 」ので、  
 「 \_\_\_\_\_ (=本人の具体的な行動) 」かもしれない。

# 田中さんが作業中に自傷をする背景と考えられる特性にチェックを入れてみましょう

## 特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 作業中に自傷をする 』			
		背景となる特性	支援のアイデア
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い	A) 汲み取ってもらう、察してもらうではなく、具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点)  B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点)
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい	
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい	
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い	C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える(方法の視点・やりとりの視点)
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	
		6) 見えないものの理解が難しい	





# 田中さんが作業中に自傷をする背景と考えられる特性にチェックを入れてみましょう

## 特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動） 『 作業中に自傷する 』			
		背景となる特性	支援のアイデア
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	D) 本人が理解できる見える情報（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）で伝える（やりとりの視点・見え方の視点）  E) 本人が発信しやすいツールを（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）提供する（やりとりの視点・見え方の視点）  F) 視覚的なツールでやりとりができるようにする（やりとりの視点・見え方の視点）
		8) 一度にたくさんを理解するのが難しい	
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい	
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい	
		11) どのようにして伝えたいか分からない	
		12) 誰に伝えていいか分からない	
	やりとりが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい	
		14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい	
		15) やりとりの量が多いと処理が難しい	



# 田中さんが作業中に自傷をする背景と考えられる特性にチェックを入れてみましょう

## 特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 作業中に自傷をする 』			
		背景となる特性	支援のアイデア
想像力	自分で予定を立てることが難しい	16) 段取りを適切に組むことが難しい	G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える (時間の視点)
		17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい	
		18) 今やることを自分で判断することが難しい	
	変化への対応が難しい	19) 先の予測をすることが難しい	H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする (時間の視点・場所の視点)
		20) 臨機応変に判断することが難しい	
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい	
	物の一部に対する強い興味	22) 興味関心が狭くて強い	I) 活動に意味や目的を持つことができる工夫をする (方法の視点)
		23) 細部が気になり違いに敏感	
		24) 少しの違いで大きな不安を感じる	



# 田中さんが作業中に自傷をする背景と考えられる特性にチェックを入れてみましょう

## 特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 作業中に自傷をする 』			
		背景となる特性	支援のアイデア
感 覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする (場所の視点)
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある	
		27) 触覚の過敏や鈍麻がある	
		28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある	L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する (場所の視点)
		29) 味覚の過敏や鈍麻がある	
		30) 前庭覚の特有の感覚がある	



# グループワーク | 本人の特性を整理する

1. 司会・記録・発表を決めます
2. 「作業中に自傷をする」に関係する特性をグループで共有します

※「冰山モデルシート(グループ用)」に記入



iv) 行動に影響を与えている  
環境や状況を整理する

# 「環境確認シート」を使って行動に影響を与えている環境や状況を整理します

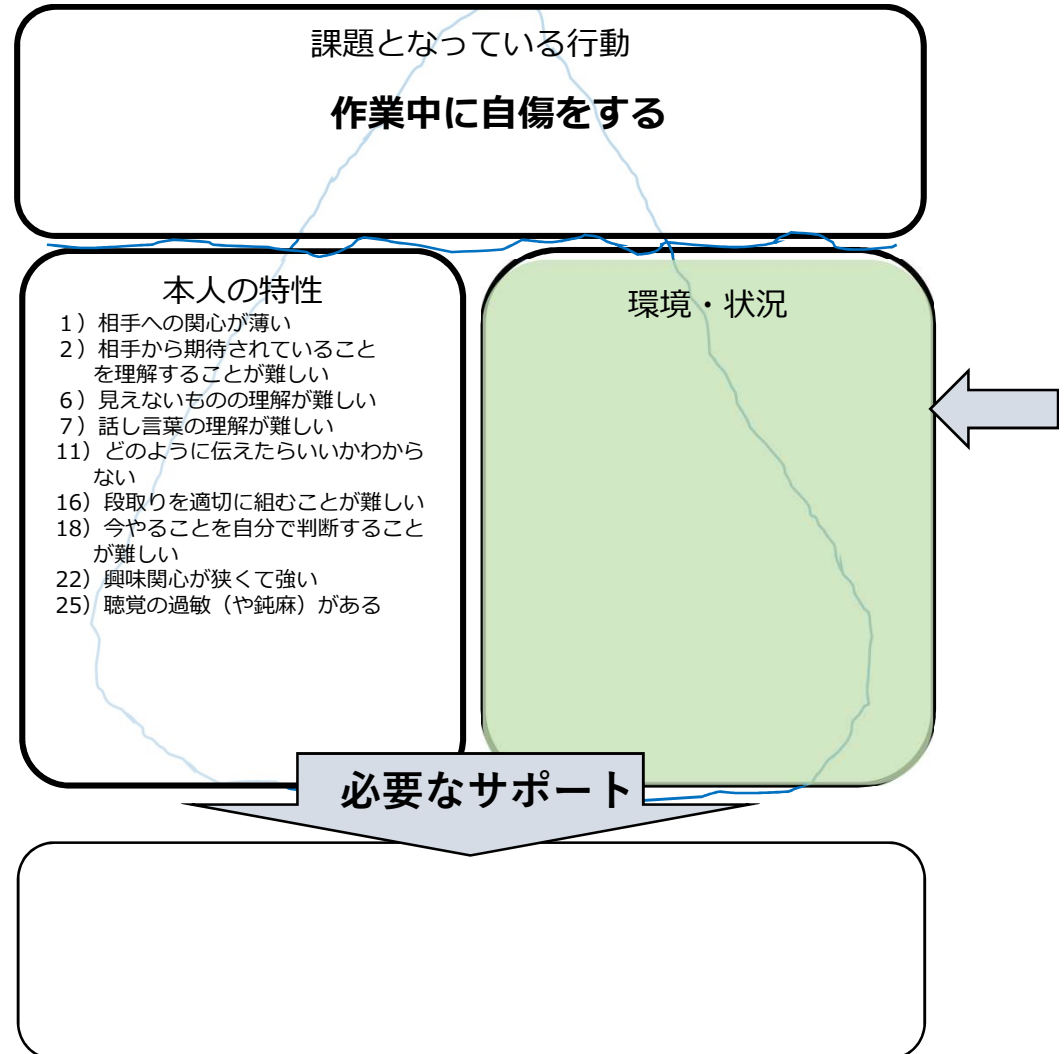
ワークシート⑤

環境確認シート

項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（言葉・指さし・実物・紙に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 支援をするときの立ち位置は適切ですか その他	
物	見ると勘違いするような物がありますか 見ると気になるような物が見えていますか 物の量で気づいたことはありますか その他	
場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていませんか 同じ場所で複数の目的の活動をしていますか 整理整頓はできていますか 気が散りやすい環境になっていませんか その他	
状況	本人の体調はいつもと比べてどうですか その活動の前に気になるできごとはありませんでしたか その活動の内容に本人の苦手な動作や感覚などが含まれていませんか その活動の目的（どうするのか、どうなったら終わるのかなど）は理解できていますか その他	
音	その場所にはどんな音がしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
気温	その場所の気温は何度くらいでしたか（あるいは暑かった・寒かった等） その気温は本人にとって快適なものですか	
湿度	その場所の湿度は何%くらいでしたか（あるいは蒸していた・乾燥していた等） その湿度は本人にとって快適なものですか	
臭い	その場所にはどんな臭いがしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
その他	その他本人が不安定になる要因になるかもしれないもの	

ワークシート②

冰山モデルシート



# 次のような項目を確認しながら、田中さんの行動に関わりがありそうな具体的な環境を記入します

## ワークシート⑤

### 環境確認シート

項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（言葉・指さし・実物・紙に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 支援をするときの立ち位置は適切ですか その他	
物	見ると勘違いするような物がありますか 見ると気になるような物が見えていますか 物の量で気づいたことはありますか その他	
場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていますか 同じ場所で複数の目的の活動をしていますか 整理整頓はできていますか 気が散りやすい環境になっていませんか その他	
状況	本人の体調はいつもと比べてどうですか その活動の前に気になるできごとはありませんでしたか その活動の内容に本人の苦手な動作や感触などが含まれていませんか その活動の目的（どうするのか、どうなったら終わるのかなど）は理解できていますか その他	

次のような項目を確認しながら、田中さんの行動に関わりがありそうな具体的な環境を記入します

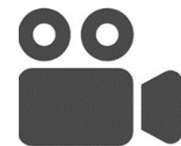
環境確認シート

ワークシート⑤

項目	環境確認の視点	具体的な環境
音	その場所にはどんな音がしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
気温	その場所の気温は何度くらいでしたか（あるいは暑かった・寒かった等） その気温は本人にとって快適なものですか	
湿度	その場所の湿度は何%くらいでしたか（あるいは蒸していた・乾燥していた等） その湿度は本人にとって快適なものですか	
臭い	その場所にはどんな臭いがしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
その他	その他本人が不安定になる要因になるかもしれないもの	

# 個人ワーク | 環境や状況を整理する

1. 環境確認シートで「作業中に自傷をする」  
ときの環境や状況を書き出します。
2. 冰山モデルシート of 環境・状況の欄に転記  
します。 → [ワークシート②](#)



# グループワーク | 環境や状況を整理する

1. 「作業中に自傷をする」ときの環境や状況をグループで共有します

※氷山モデルシート（グループ用）に記入

V) 必要なサポートを整理する

# 必要なサポートを「特性確認シート」の「支援のアイデア」を使って整理します

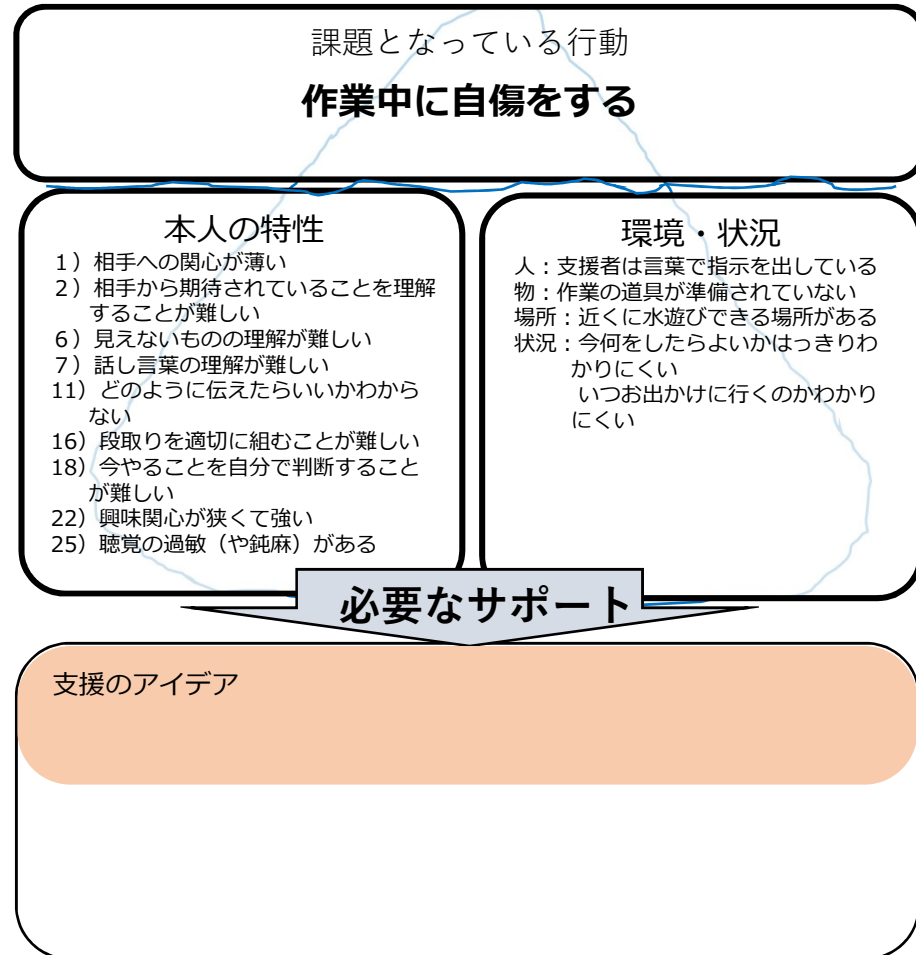
特性確認シート

ワークシート④

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 』			
	背景となる特性	支援のアイデア	
社会性	1) 相手への関心が薄い	A) 体的に伝える(見え方の視点・やりどりの視点)	
	2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい		
	3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい		
	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い	B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える(見え方の視点・やりどりの視点)	
	5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい		
	6) 見えないものの理解が難しい		
コミュニケーション	7) 話し言葉の理解が難しい	C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える(方法の視点・やりどりの視点)	
	8) 一度にたくさんのごとを理解するのが難しい		
	9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい		
	10) 話し言葉で伝えることが難しい	D) 本人が理解できる見える情報(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)で伝える(やりどりの視点・見え方の視点)	
	11) どのようにして伝えたいかわからない		
	12) 誰に伝えていいかわからない		
	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい	E) 本人が発信しやすいツールを(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)提供する(やりどりの視点・見え方の視点)	
	14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい		
	15) やりどりの量が多いと処理が難しい		
	想像力	16) 段取りを適切に組むことが難しい	F) 視覚的なツールでやりとりができるようにする(やりどりの視点・見え方の視点)
		17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい	
		18) 今やることを自分で判断することが難しい	
		19) 先の予測をすることが難しい	G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える(時間の視点)
		20) 臨機応変に判断することが難しい	
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい	
感覚		22) 興味関心が狭くて強い	H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする(時間の視点・場所の視点)
		23) 細部が気になり違いに敏感	
		24) 少しの違いで大きな不安を感じる	
		25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	
感覚	26) 視覚の過敏や鈍麻がある	I) 活動に興味や目的を持つことができる工夫をする(方法の視点)	
	27) 触覚の過敏や鈍麻がある		
	28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある		
	29) 味覚の過敏や鈍麻がある		
	30) 前庭覚の特有の感覚がある		
		K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする(場所の視点)	
		L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する(場所の視点)	

冰山モデルシート

ワークシート②





# 田中さんの行動の背景となる特性に対応した支援のアイデアを選びます。

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 』		背景となる特性	支援のアイデア
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い	A) 汲み取ってもらい、察してもらうではなく、具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点)
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい	
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい	
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い	B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点)
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える(方法の視点・やりとりの視点)
		6) 見えないものの理解が難しい	
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	D) 本人が理解できる見える情報(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)で伝える(やりとりの視点・見え方の視点)
		8) 一度にたくさんのかんことを理解するのが難しい	
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい	
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい	E) 本人が発信しやすいツールを(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)提供する(やりとりの視点・見え方の視点)
		11) どのようにして伝えたいか分からない	
		12) 誰に伝えていいか分からない	
	やりとりが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい	F) 視覚的なツールでやりとりができるようにする(やりとりの視点・見え方の視点)
		14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい	
		15) やりとりの量が多しと処理が難しい	
想像力	自分で予定を立てることが難しい	16) 段取りを適切に組むことが難しい	G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える(時間の視点)
		17) なんとなく、たいたいなどのイメージを持ちにくい	
		18) 今やることを自分で判断することが難しい	
	変化への対応が難しい	19) 先の予測をすることが難しい	H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする(時間の視点・場所の視点)
		20) 臨機応変に判断することが難しい	
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい	
	物の一部に対する強い興味	22) 興味関心が狭くて強い	I) 活動に意味や目的を持つことができる工夫をする(方法の視点)
		23) 細部が気になり違いに敏感	
24) 少しの違いで大きな不安を感じる			
感覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	K) 舌手な刺激を少なくするための配慮をする(場所の視点)
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある	
		27) 触覚の過敏や鈍麻がある	
		28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある	
		29) 味覚の過敏や鈍麻がある	
		30) 前庭覚の特有の感覚がある	
	L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する(場所の視点)		

# 個人ワーク | 支援のアイデアを整理する

→ワークシート④

1. 特性確認シートで「作業中に自傷をする」背景となる特性に対応する支援のアイデアをピックアップします。
2. 冰山モデルシートの支援のアイデアの欄に転記します。 →ワークシート②

# グループワーク | 支援のアイデアを整理する

1. 「作業中に自傷をする」に関係する特性に対応する支援のアイデアをグループで共有します  
※冰山モデルシート（グループ用）に記入

# さらに「強み（ストレングス）確認シート」 を使って具体化します

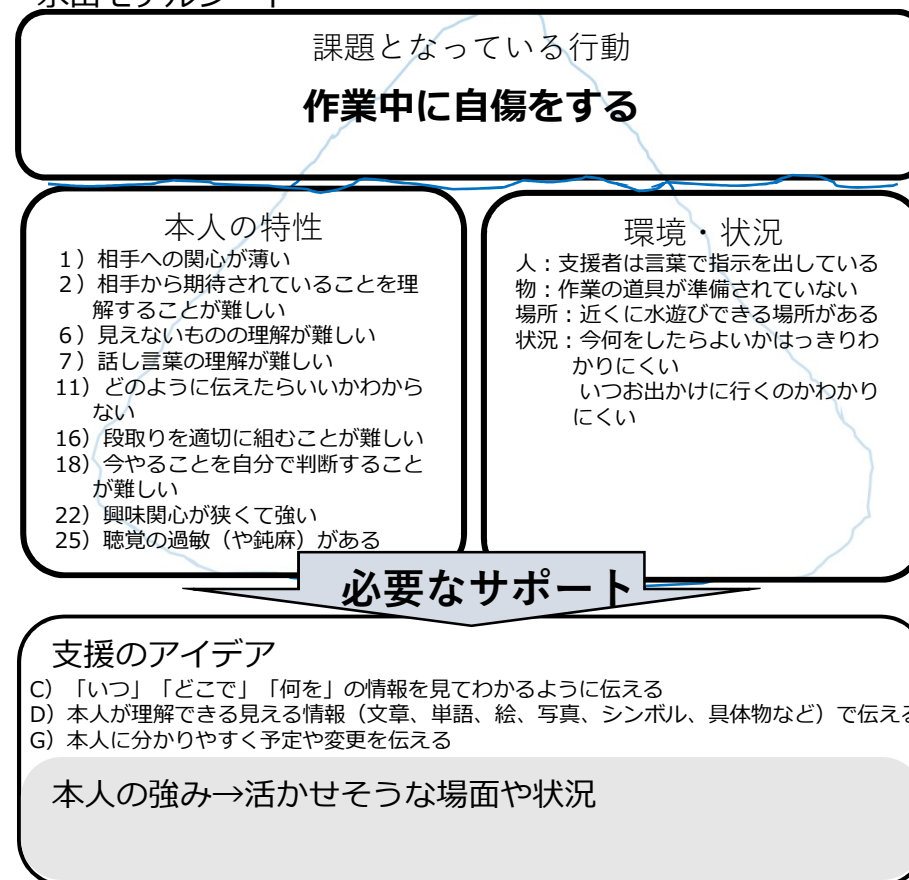
## ワークシート⑥

### 強み（ストレングス）確認シート

本人の強み（ストレングス）	活かせそうな場面や状況
<p>わかること・できること 例) なくなったら終わり、ペットボトルのふたを開ける ハサミを使うのが上手 など</p>	
<p>好きなこと（遊び方、過ごし方、キャラクターなど） やりたがること 例) ハンモックで揺れる ○○のキャラクター ピッタリはまる 色を合わせる</p>	
<p>得意なこと（これには助けられているなど） 見方を変えれば得意かもしれないこと 例) 目的がわかれば待つことができる 変更は苦手だがいつもと同じことはできる</p>	
その他	

## ワークシート②

### 氷山モデルシート



# 「強み」(ストレングス)とは

支援をするときに活かせそうな、本人の能力  
や環境

## ※ストレングスモデル

その人が元来持っている強さに注目し、それを  
引き出して活用していこうとする考え方

障害特性も「リフレーミング」により強みになる  
場合もある。

## (参考) リフレーミング

ある枠組み（フレーム）で捉えられている物事を、  
枠組みをはずして違う枠組みで見ること

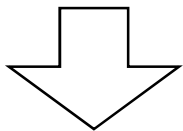
今までの考えとは「解釈を変える・視点を変える」  
「違った角度からアプローチする」ことにより、誰もが潜在的に持っている能力を使って、意図的に自分や相手の生き方を健全なものにし、ポジティブなものにしていく。

# リフレーミングの例

「水をどのくらい飲めましたか？」

【ポジティブ】

半分も飲めている

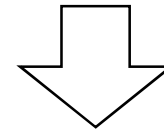


「あと少しで飲み終わりますね。」  
「頑張ってますね。」



【ネガティブ】

半分しか飲めていない



「全然飲めていないですね。」  
「早く飲んでくださいよ。」

# リフレーミングの例

- |              |                |
|--------------|----------------|
| ■ 動作が遅い      | □ 一つ一つ丁寧にできる   |
| ■ 大雑把        | □ 小さいことが気にならない |
| ■ 頑固、融通がきかない | □ 強い意志を持っている   |
| ■ 気が散りやすい    | □ 好奇心旺盛        |
| ■ 自己中心的      | □ 自分のことを大切にできる |
| ■ 心配性        | □ 先のことを予測できる   |
| ■ 自分勝手       | □ 主体的に行動できる    |
| ■ 作業が雑       | □ 大まかなことはできる   |
| ■ 集団で行動できない  | □ 1人で行動できる     |
| ■ 飽きっぽい      | □ 気持ちの切り替えが早い  |
| ■ しつこい       | □ ねばり強い        |
| ■ 人に流されやすい   | □ 状況把握ができています  |



# リフレーミングの考え方の大切さ

リフレーミングは、問題、課題への対応方法を考えるときに用いることが多い。

問題・課題解決において

- ① 「できない理由」ではなく「どうやったらできるか」を考えるようになる
- ② その人自身を変えようとするのではなく、環境、支援方法を変えるようになる
- ③ ピンチをチャンスに変える思考習慣が身につく

# 本人の強み（ストレングス）と活かせそうな場面や状況を書き出します

強み（ストレングス）確認シート

本人の強み（ストレングス）	活かせそうな場面や状況
わかること・できること 例) なくなったら終わり、ペットボトルのふたを開ける ハサミを使うのが上手 など	
好きなこと（遊び方、過ごし方、キャラクターなど） やりたがること 例) ハンモックで揺れる ○○のキャラクター ピックルはまる 色を合わせる	
得意なこと（これには助けられているなど） 見方を変えれば得意かもしれないこと 例) 目的がわかれば待つことができる 変更は苦手だがいつもと同じことはできる	
その他	

# 個人ワーク | 強み（ストレングス）を整理する

1. 強み（ストレングス）確認シートで、本人の強み（ストレングス）と活かせそうな場面や状況を書き出します。→ワークシート⑥
2. 冰山モデルシートの本人の強み→活かせそうな場面や状況の欄に転記します。→ワークシート②

# グループワーク | 強み（ストレングス）を整理する

1. 本人の強み（ストレングス）と活かせそうな場面や状況をグループで共有します

※氷山モデルシート（グループ用）に記入

記入の仕方

本人の強み（ストレングス） →活かせそうな場面や状況

# 発表

1. 記入した氷山モデルの内容を発表します

# まとめの講義

1. 強度行動障害が現れている方への支援は、アセスメントに基づいた本人の障害特性を理解して、根拠のある支援を組み立てることが基本です。
2. アセスメントは、本人の障害特性だけでなく、環境や状況も含めて行うことが重要です。